

(様式第1号)

## 自己評価及び外部評価結果票

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4150480020		
法人名	医療法人社団 高仁会		
事業所名	グループホーム悠々		
所在地	佐賀県多久市北多久町多久原2512-24		
自己評価作成日	令和5年10月5日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp">www.kaigokensaku.mhlw.go.jp</a>
-------------	--

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市天神一丁目4番15号		
訪問調査日	令和5年10月26日	外部評価確定日	令和5年12月13日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>毎日の日常生活の中で「洗濯、掃除、食器などの片付けやホーム菜園」等を、入居者と職員が一緒に行い共に生活しています。ホーム菜園では苦瓜(にがうり)や芋苗を植えて、毎日入居者と一緒に水やりの管理を行い、11月には秋の収穫祭を行う予定にしています。また、入居者と職員で話し合い、その時期の旬の食材を使って入居者一人ひとりの「出来るところ」を取り入れ、料理作りやオヤツ作りを行い入居者が季節感を感じながら、生き生きと日常生活が送れるように支援しています。</p> <p>コロナ渦で外出の機会は少なくなりましたが、家庭的な雰囲気の中で入居者の思いや意思を尊重し、入居者の方が明るく楽しく過ごしていただけるように季節ごとに年間レクリエーション「父の日・母の日・七夕会・夏祭り・敬老会・忘年会・新年会・雛祭り」などを開催し、入居者一人ひとりが四季を感じながら笑顔で楽しい時間が過ごせるように支援しています。</p>
---

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>母体である病院と同じ敷地の中に施設はある。専門知識を持った母体病院の基、介護に対する職員意識も高い。グループホーム悠々の理念、ケア理念・ケア目標、多くの理念や目標が事業所内の目に付くところに掲示しており、意識の向上・ケア理念の確認と振り返りに役立っている。管理者は職員にゆとりした時間の中で利用者一人ひとりのペースに合わせた支援を心がけ、利用者にとってここは第2の家庭であると感じてほしいとの思いで、できないことの支援を行い入居者と職員が互いに認め合い、境を作らない支援ができています。事業所は職員配置も手厚く、夜間も三交替勤務を行い、また緊急時に備え、母体の病院と電子カルテで情報の共有を行い入居者の安全とともに家族にも安心した支援が行われている。</p>
--

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東ユニット) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(西ユニット) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>I. 理念に基づく運営</b>							
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	母体の高仁会理念に基づき、悠々の理念及び悠々ケア理念を職員間で共有している。又、スタッフルームに理念を掲示し、いつでも確認できるようにし実践につなげられるように努めている。	母体の高仁会理念に基づき、悠々の理念及び悠々ケア理念を職員間で共有している。又、スタッフルームに理念を掲示し、いつでも確認できるようにし実践につなげられるように努めている。	法人の基本方針を踏まえ開設時に作成された理念の思いは変わらず今も掲げられている。理念をいつも目につく場所に掲示するだけでなく、毎日朝礼時に唱和し、いつでも確認できるようにと名札の裏に入れ、常時携帯し実践につなげている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	例年は中多久区の夏祭りや地区一斉清掃、近くの幼稚園との交流(七夕会)、毎月ボランティア活動団体(ほたる文庫、ひまわりの会、カラオケ慰問)の受け入れを行い、地域の方との交流を図るように努めている。令和5年度はコロナ感染予防で活動を控えている。	例年は中多久区の夏祭りや地区一斉清掃、近くの幼稚園との交流(七夕会)、毎月ボランティア活動団体(ほたる文庫、ひまわりの会、カラオケ慰問)の受け入れを行い、地域の方との交流を図るように努めている。令和5年度はコロナ感染予防で活動を控えている。	法人で自治会に加入している。コロナ禍で、感染予防のためにも地域との交流は極力控えているが、地域との交流がスムーズに再開できるように、区の代表者や幼稚園などとの連絡は保っている。地域の清掃活動には職員が毎年参加している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	定期的な運営推進会議等を利用し、地域の方へ認知症に関する理解・啓蒙を行っている。又、認知症カフェを立ち上げ、相談助言等の活動も行っている。	定期的な運営推進会議等を利用し、地域の方へ認知症に関する理解・啓蒙を行っている。又、認知症カフェを立ち上げ、相談助言等の活動も行っている。	/		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	活動計画を基に運営推進会議を開催している。そこで活動に関する取り組み状況を報告し意見を頂いている。又、出席者からの意見を汲み取りサービス向上に努めている。(令和5年度はコロナ感染予防で一時議事録回覧とする)	活動計画を基に運営推進会議を開催している。そこで活動に関する取り組み状況を報告し意見を頂いている。又、出席者からの意見を汲み取りサービス向上に努めている。(令和5年度はコロナ感染予防で一時議事録回覧とする)	運営推進会議は2か月に1回、第2月曜日に開催され地域の代表者や家族、行政職員の参加を得て開催されている。会議では、事業所状況報告や行事等の報告に加え、年間計画に基づく議題に沿った話し合いがなされている。議事録も作成されている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東ユニット) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(西ユニット) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	毎月1回開催される多久市地域ケア会議で情報交換を行い、関係性の構築に取り組んでいる。	毎月1回開催される多久市地域ケア会議で情報交換を行い、関係性の構築に取り組んでいる。	行政担当者が運営推進会議の委員でもあり、行政との連携はできている。また月に1回の地域ケア会議にも参加し、各事業所との情報の交換を行っている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束ゼロ推進委員会と連携し、身体拘束を行わないケアの提供ができるように、年2回は研修会を開催し職員に周知している。 又、契約書に身体拘束に関する事前協議書を取り交わし、基本的な考え、対処方法、家族の意向等を確認している。	身体拘束ゼロ推進委員会と連携し、身体拘束を行わないケアの提供ができるように、年2回は研修会を開催し職員に周知している。 又、契約書に身体拘束に関する事前協議書を取り交わし、基本的な考え、対処方法、家族の意向等を確認している。	法人で年間計画に位置付けて身体拘束の研修や勉強会が行われており、職員の意識も高くこれまで身体拘束の事例は無い。玄関は夜間以外は施錠せず、ドアが開けばチャイムが鳴るようになっている。身体拘束だけでなく、精神的、社会的な拘束も無いケアを心掛けている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待に関する部署内研修や法人内研修に参加し、虐待防止に努めている。又、職員間で虐待につながる恐れがないか、定期的に話し合い振り返りを行っている。	高齢者虐待に関する部署内研修や法人内研修に参加し、虐待防止に努めている。又、職員間で虐待につながる恐れがないか、定期的に話し合い振り返りを行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	基本的人権や倫理等に関する研修会を行っている。 権利擁護を基にした適切なケアの支援が出来るように努めている。	基本的人権や倫理等に関する研修会を行っている。 権利擁護を基にした適切なケアの支援が出来るように努めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約締結・解約・改定に関しては、口頭及び文書にて説明を行い、納得して頂けたか確認を行ない契約を結んでいる。	契約締結・解約・改定に関しては、口頭及び文書にて説明を行い、納得して頂けたか確認を行ない契約を結んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東ユニット) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(西ユニット) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関前にみなさまの声のボックスを設置し、事業所の運営及び意見や要望を確認できるようにしている。又、面会時に職員が家族に意見や要望がないか確認している。苦情相談窓口として、管理者及び計画作成担当者を配置している。契約書内にも苦情処理に関する条項を設けており申立機関の説明も行っている。	玄関前にみなさまの声のボックスを設置し、事業所の運営及び意見や要望を確認できるようにしている。又、面会時に職員が家族に意見や要望がないか確認している。苦情相談窓口として、管理者及び計画作成担当者を配置している。契約書内にも苦情処理に関する条項を設けており申立機関の説明も行っている。	家族の訪問時などに意見や要望など聞くことを心がけている。敬老会では家族会を開催した。出された意見はミーティングで話し合う、また現場での改善が難しい案件については代表者を交えた会議の中で話し合い反映させている。家族よりコロナ禍での面会制限についての意見があり、面会できる場所を設け対応している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	東西ユニット全体で定期的にミーティングを開催し、職員からの意見や提案を聞き、反映させる機会を設け業務改善に取り組んでいる。	東西ユニット全体で定期的にミーティングを開催し、職員からの意見や提案を聞き、反映させる機会を設け業務改善に取り組んでいる。	2ユニット合同でミーティングを行っており、働きやすい職場づくりの為に意見を出し合っている。管理者は日ごろから職員とのコミュニケーションを図るよう心がけ、職員の意見や要望に耳を傾け運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	法人内の看介護ラダー制度を基に各職員が個人目標の立案・自己評価・他者評価を行い、向上心を持って仕事が出来るような仕組みを整備している。	法人内の看介護ラダー制度を基に各職員が個人目標の立案・自己評価・他者評価を行い、向上心を持って仕事が出来るような仕組みを整備している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修会に関する情報配信を行い、研修に必要な時間調整やeラーニング等に参加できる機会と確保に努めている。	法人内外の研修会に関する情報配信を行い、研修に必要な時間調整やeラーニング等に参加できる機会と確保に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	令和5年度はコロナ感染予防で実施できておりません。次年度は同業者との交流の場を設け、サービスの質の向上に取り組んでいく。	令和5年度はコロナ感染予防で実施できておりません。次年度は同業者との交流の場を設け、サービスの質の向上に取り組んでいく。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東ユニット) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(西ユニット) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>							
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居にあたり本人や家族から、要望及び生活歴や既往歴等を聞き情報収集に努めている。その情報を基に支援し信頼関係の構築に努め、入居者の方が安心して日常生活が送れる場となるように努めている。	入居にあたり本人や家族から、要望及び生活歴や既往歴等を聞き、情報収集に努めている。その情報を基に支援し信頼関係の構築に努め、入居者の方が安心して日常生活が送れる場となるように努めている。			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス利用開始にあたり家族が困っていることや要望等を十分に聞き、職員は家族も含めた支援と、家族との信頼関係の構築に努めている。	サービス利用開始にあたり家族が困っていることや要望等を十分に聞き、職員は家族も含めた支援と、家族との信頼関係の構築に努めている。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前に本人・家族やケアマネジャーから意見や要望を確認し、必要なサービスの検討を行い、入居者が張りのある日常生活を提供できるように努めている。	入居前に本人・家族やケアマネジャーから意見や要望を確認し、必要なサービスの検討を行い、入居者が張りのある日常生活を提供できるように努めている。			
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	計画作成担当者と受け持ち担当者が中心となり、入居者の自立支援を踏まえ、入居者が日常生活の中で出来ることや得意なことを活かせるように努めている。又、生活歴や趣味を活かし、入居者と職員が共に支え合いながら過ごせるように取り組んでいる。	計画作成担当者と受け持ち担当者が中心となり、入居者の自立支援を踏まえ、入居者が日常生活の中で出来ることや得意なことを活かせるように努めている。又、生活歴や趣味を活かし、入居者と職員が共に支え合いながら過ごせるように取り組んでいる。			
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居者と家族との関係性が維持できるように、必要に応じて電話連絡を行っている。又、タイムリーな情報伝達にも努めている。面会時には日頃の様子を伝え、入居者と家族の絆が図れるように取り組んでいる。	入居者と家族との関係性が維持できるように、必要に応じて電話連絡を行っている。又、タイムリーな情報伝達にも努めている。面会時には日頃の様子を伝え、入居者と家族の絆が図れるように取り組んでいる。			

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東ユニット) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(西ユニット) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居前に家族にできるだけ友人や知人の方も気軽に面会に来て頂けるように案内している。又、入居者と家族との交流を大切に、母の日や父の日、敬老会等の日に記念行事を行い共に喜べるように努めている。令和5年度はコロナ感染予防で面会制限を行っているがオンライン面会も対応している。	入居前に家族にできるだけ友人や知人の方も気軽に面会に来て頂けるように案内している。又、入居者と家族との交流を大切に、母の日や父の日、敬老会等の日に記念行事を行い共に喜べるように努めている。令和5年度はコロナ感染予防で面会制限を行っているがオンライン面会も対応している。	入居契約時に思いや希望を聴き、関係継続の支援に努めている。家族の面会時を利用して、本人から聞けない情報を得ることもある。感染対策を配慮したうえで、家族対応での病院受診や理美容へ出かけることは継続している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員は入居者一人ひとりの性格や特性を把握し、常に入居者が孤立しないように関わりを持ち、入居者同士が円満な日常生活を送れるように支援している。	職員は入居者一人ひとりの性格や特性を把握し、常に入居者が孤立しないように関わりを持ち、入居者同士が円満な日常生活を送れるように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院等により契約が終了しても、ご家族の了承のもとお見舞いに行き、状態や状況の確認を行い必要に応じて、本人や家族に新たなサービスの紹介等を行っている。	入院等により契約が終了しても、ご家族の了承のもとお見舞いに行き、状態や状況の確認を行い必要に応じて、本人や家族に新たなサービスの紹介等を行っている。		

### Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	職員は入居者一人ひとりと向き合い、表情や態度、雰囲気等を汲み取りながら、本人の希望や意向を確認している。 又、家族からの希望や意向も確認し、入居者が快適に日常生活を送れるように検討している。	職員は入居者一人ひとりと向き合い、表情や態度、雰囲気等を汲み取りながら、本人の希望や意向を確認している。 又、家族からの希望や意向も確認し、入居者が快適に日常生活を送れるように検討している。	一人ひとりのペースに合わせた支援を行っている。言葉の端々や独り言、表情やちょっとした行動の変化を見逃がさず、好きな物ややりたい事を見つけていくようにしている。裁縫が得意で糸通しも自分で行い職員と楽しそうに縫物をしている入居者もいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に本人や家族から生活歴や生活環境、趣味や関心があることを確認するようになっている。又、入居前のケアマネジャーや相談員にもサービス経過等を確認するようになっている。	入居時に本人や家族から生活歴や生活環境、趣味や関心があることを確認するようになっている。又、入居前のケアマネジャーや相談員にもサービス経過等を確認するようになっている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東ユニット) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(西ユニット) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人の「出来る事・出来ない事」を日常生活の中で把握するとともに、心身の残存機能等を見極めながら、入居者一人ひとりの心身の状態や能力に応じて、自立した日常生活を楽しく送れるように努めている。	本人の「出来る事・出来ない事」を日常生活の中で把握するとともに、心身の残存機能等を見極めながら、入居者一人ひとりの心身の状態や能力に応じて、自立した日常生活を楽しく送れるように努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的に入居者と家族から希望や要望を確認している。入居者がより良く暮らすための課題やケアのあり方について、計画作成担当者と職員間で話し合い、介護計画の更新を行っている。又、入居者の状況や状態に応じて、介護計画の検討・変更を行っている。	定期的に入居者と家族から希望や要望を確認している。入居者がより良く暮らすための課題やケアのあり方について、計画作成担当者と職員間で話し合い、介護計画の更新を行っている。又、入居者の状況や状態に応じて、介護計画の検討・変更を行っている。	本人や家族の意向を踏まえながら、専門職としての意見も入った計画書になっている。モニタリングも定期的に行い必要時には随時計画を変更し、家族には直接ケアプランの説明を行い、同意を得ている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	入居者一人ひとりの介護計画に沿ってケアの提供を行い、その状況や状態と気づきや取り組みなどを経過記録し、介護計画の見直しに活かしている。	入居者一人ひとりの介護計画に沿ってケアの提供を行い、その状況や状態と気づきや取り組みなどを経過記録し、介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個別に理美容室や買い物外出など、個々のニーズに対応している。病院受診の付き添いは基本的に家族へお願いしていますが、家族の状況によっては柔軟に対応している。又、入居者や家族の意向により、急な外出にも対応している。	個別に理美容室や買い物外出など、個々のニーズに対応している。病院受診の付き添いは基本的に家族へお願いしていますが、家族の状況によっては柔軟に対応している。又、入居者や家族の意向により、急な外出にも対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	入居者の生活を支えるものとして、買い物や理美容などを行う場所への外出、地域住民と触れ合う機会となる地区行事や幼稚園との交流会、ボランティアの方々との触れ合い等、豊かな暮らしづくりの支援を行っている。令和5年度はコロナ感染予防で一時活動を控えている。	入居者の生活を支えるものとして、買い物や理美容などを行う場所への外出、地域住民と触れ合う機会となる地区行事や幼稚園との交流会、ボランティアの方々との触れ合い等、豊かな暮らしづくりの支援を行っている。令和5年度はコロナ感染予防で一時活動を控えている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東ユニット) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(西ユニット) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	契約時にかかりつけの医療機関の確認を行っている。又、心身の状態把握に努め、法人内の中多久病院の定期受診やかかりつけの医療機関への受診も入居者と家族の意向を踏まえ対応を行っている。	契約時にかかりつけの医療機関の確認を行っている。又、心身の状態把握に努め、法人内の中多久病院の定期受診やかかりつけの医療機関への受診も入居者と家族の意向を踏まえ対応を行っている。	法人内の病院は精神科ということもあり、専門医として関わるが多く、入居者の多くがかかりつけ医を継続されている。受診は基本的にご家族にお願いしているが、状況次第では職員が付き添い受診結果は家族に電話で伝えている。また母体の病院からは月に1回往診があり、電子カルテで情報共有し、緊急時は母体の病院が対応する体制が整っている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常的に入居者の健康状態の観察を行い、ホーム内の看護師に状態報告している。また、急変時には中多久病院の外来や病棟の看護師に状態報告を行い、医師の診察を受けている。又、状態に応じて他医療機関を受診し、随時、家族との連絡調整も行なっている。	日常的に入居者の健康状態の観察を行い、ホーム内の看護師に状態報告している。また、急変時には中多久病院の外来や病棟の看護師に状態報告を行い、医師の診察を受けている。又、状態に応じて他医療機関を受診し、随時、家族との連絡調整も行なっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院された場合は家族了承のもと、入院先の病院へ情報提供を行い、安心して治療が受けられるように努めている。又、入院先に面会に行き病院職員から可能な限り情報収集を行い、双方の関係性の構築に努めている。家族と職員の間でも情報交換を行い、病状の把握等に努めている。	入退院された場合は家族了承のもと、入院先の病院へ情報提供を行い、安心して治療が受けられるように努めている。又、入院先に面会に行き病院職員から可能な限り情報収集を行い、双方の関係性の構築に努めている。家族と職員の間でも情報交換を行い、病状の把握等に努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に重度化した場合に於ける対応に係る指針を説明している。又、入居中に重度化されると予測される場合は、事前に家族と話し合う場を設け、事業所ですることを十分に説明し、今後の意向や方針を家族と話し合っている。	入居時に重度化した場合に於ける対応に係る指針を説明している。又、入居中に重度化されると予測される場合は、事前に家族と話し合う場を設け、事業所ですることを十分に説明し、今後の意向や方針を家族と話し合っている。	これまで看取りの事例は無いが、看取りに対する事業所の考え方、連携体制、本人及び家族との話し合いや意思確認の方法等を含む指針も準備されており、また職員体制も整っていることから、今後事業所での看取り支援を考えている。	



自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東ユニット) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(西ユニット) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	安全管理委員会を中心に事故対応マニュアルを活用し学習会を開催している。 また、定期的に緊急時の訓練としてAEDの使用方法やボディコール・ハートコールの訓練を行っている。	安全管理委員会を中心に事故対応マニュアルを活用し学習会を開催している。 また、定期的に緊急時の訓練としてAEDの使用方法やボディコール・ハートコールの訓練を行っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の防災訓練と自然災害対策訓練を行っている。又、運営推進会議で、災害に関する情報共有や検討を行い、災害時は地域住民の協力を得ることを伝えている。又、入居者の方が昼夜を問わず避難できるように出口の説明を行い、避難経路の確認をしてもらっている。	年2回の防災訓練と自然災害対策訓練を行っている。又、運営推進会議で、災害に関する情報共有や検討を行い、災害時は地域住民の協力を得ることを伝えている。又、入居者の方が昼夜を問わず避難できるように出口の説明を行い、避難経路の確認をもらっている。	法人全体で年2回の防災訓練と自然災害対策訓練を行っている。その中で夜間を想定した訓練も行っている。近年は自然災害の危険が増していることから、地区周辺の危険箇所など市役所や消防署と共有している。備蓄品は母体病院と合わせて3日分を準備している。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	悠々の理念を基にしたケア目標の中に、「利用者が自分らしく誇りを持って生活できること」を掲げており、日々、入居者の人格の尊重とプライバシーの配慮に努めている。又、プライバシーを侵害しないように訪室時はノックやトイレ誘導の声かけの仕方についても留意している。	悠々の理念を基にしたケア目標の中に、「利用者が自分らしく誇りを持って生活できること」を掲げており、日々、入居者の人格の尊重とプライバシーの配慮に努めている。又、プライバシーを侵害しないように訪室時はノックやトイレ誘導の声かけの仕方についても留意している。	秘密保持同意書が有り、契約時に説明している。その人の守るべき情報は決して漏らさないことは基本としている。人権についても入居者の尊厳の尊重はすべての支援の基盤でありこれまでの人生経験を真摯に受け止め支援に挑んでいる。個人情報もきちんと守られ個人写真の使用なども家族に承諾を得ている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の意思決定は、できるだけ選択式で問いかけ、入居者の意向や意思を尊重するように努めている。又、家族からもサポートして頂き、入居者の希望や思いを引き出すように取り組んでいる。	日常生活の意思決定は、できるだけ選択式で問いかけ、入居者の意向や意思を尊重するように努めている。又、家族からもサポートして頂き、入居者の希望や思いを引き出すように取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東ユニット) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(西ユニット) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ゆったりと自分らしく過ごせるように入居者のペースを尊重することをケア目標に掲げ、入居者一人ひとりのペースに合わせて趣味や興味を取り入れながら、入居者のQOL(生活の質)を大切に支援を行っている。	ゆったりと自分らしく過ごせるように入居者のペースを尊重することをケア目標に掲げ、入居者一人ひとりのペースに合わせて趣味や興味を取り入れながら、入居者のQOL(生活の質)を大切に支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	各居室内に洗面台を設置しており、居室内で洗顔や化粧ができるようにしている。また、家族の協力を頂き、本人が昔から好まれている洋服を準備してもらい、一日を快適に過ごせるように支援している。	各居室内に洗面台を設置しており、居室内で洗顔や化粧ができるようにしている。また、家族の協力を頂き、本人が昔から好まれている洋服を準備してもらい、一日を快適に過ごせるように支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者と一緒に食事前の準備や食後の後片付けなどに取り組んでいる。又、悠々の畑で採れた作物で料理したり、定期的に手作りオヤツを行い、作る楽しみや食べる楽しみの場となるように取り組んでいる。	入居者と一緒に食事前の準備や食後の後片付けなどに取り組んでいる。又、悠々の畑で採れた作物で料理したり、定期的に手作りオヤツを行い、作る楽しみや食べる楽しみの場となるように取り組んでいる。	食事は外注であるため、時々入居者の食べたいものを聞き、外注の食事を止め、施設で調理することもある。また畑で採れた芋などを調理したり、おやつ作りを楽しむことも多い。入居者の状態や本人の希望を聞き取りながら、食器拭き等を手伝ってもらい、本人の力を活かす取り組みを行っている	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者一人ひとりの食事摂取時の状態観察や摂取量の確認を行い記録するようにしている。特に脱水に気を付け、一日の中で水分補給を十分に行うようにしている。又、毎月体重測定を行い健康管理に努めている。	入居者一人ひとりの食事摂取時の状態観察や摂取量の確認を行い記録するようにしている。特に脱水に気を付け、一日の中で水分補給を十分に行うようにしている。又、毎月体重測定を行い健康管理に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	入居者一人ひとりの能力に応じて声かけ、見守り、介助を行っている。又、歯科治療が必要な方は、協力歯科医に往診に来て頂いている。	入居者一人ひとりの能力に応じて声かけ、見守り、介助を行っている。又、歯科治療が必要な方は、協力歯科医に往診に来て頂いている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東ユニット) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(西ユニット) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	入居者一人ひとりの排泄パターンや行動パターンを把握し、事前に声をかけトイレ誘導し失禁が減少するように支援している。又、必要な排泄ケア用品の使用を行い、尿もれ防止や褥瘡防止に努めている。	入居者一人ひとりの排泄パターンや行動パターンを把握し、事前に声をかけトイレ誘導し失禁が減少するように支援している。又、必要な排泄ケア用品の使用を行い、尿もれ防止や褥瘡防止に努めている。	利用者一人ひとりに合わせた排泄の自立支援を心がけている。排泄に関しては、完全自立の他、声かけや一部介助の方が殆どである。紙パンツやパッド・布パンツ使用など、利用者一人ひとりの利用状況が一目でわかるような一覧表にしており、職員間で情報共有して支援に活かしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日常生活の中で乳製品や食物繊維及び水分飲用を促し、散歩や軽運動を行い腸の活性化に努めている。必要に応じて下剤の投与を行い、便秘の予防に取り組んでいる。	日常生活の中で乳製品や食物繊維及び水分飲用を促し、散歩や軽運動を行い腸の活性化に努めている。必要に応じて下剤の投与を行い、便秘の予防に取り組んでいる。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴は毎日可能であり、個別に入浴を実施している。入浴前には血圧測定と浴室の温度管理を行い、ヒートショック防止に努めている。	入浴は毎日可能であり、個別に入浴を実施している。入浴前には血圧測定と浴室の温度管理を行い、ヒートショック防止に努めている。	基本は週3回の入浴であるが要望があればできる限り支援するように心掛けている。入浴拒否がある場合でも無理強いせず、日にちの変更などでその人に合った支援も柔軟に行われている。入浴しない時でも下着交換がなされ、清潔に配慮されている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	室温調整や光・音等に配慮し、睡眠状態の観察と把握を行い、日中の過ごし方にも留意している。不眠傾向の方は医師の指示のもと眠前薬の服用も行い、安眠できるように支援している。	室温調整や光・音等に配慮し、睡眠状態の観察と把握を行い、日中の過ごし方にも留意している。不眠傾向の方は医師の指示のもと眠前薬の服用も行い、安眠できるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬は職員で管理を行い、薬剤情報提供書を基に、薬品名・用法・用量等を確認し、内服薬等による状態変化の観察に努めている。	薬は職員で管理を行い、薬剤情報提供書を基に、薬品名・用法・用量等を確認し、内服薬等による状態変化の観察に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東ユニット) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(西ユニット) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者一人ひとりの生活歴や関心のあるものを個別的に取り入れ、入居者の楽しみや生きがいとなるように取り組んでいる。又、年間レクリエーション計画をもとにホーム行事を行い、四季の移り変わりを感じ気分転換が図れるように努めている。	入居者一人ひとりの生活歴や関心のあるものを個別的に取り入れ、入居者の楽しみや生きがいとなるように取り組んでいる。又、年間レクリエーション計画をもとにホーム行事を行い、四季の移り変わりを感じ気分転換が図れるように努めている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	入居者の希望により日常的に散歩や買い物・理美容室等の外出やドライブなどを行っている。又、家族と協力しながら外出や外泊に関する支援も行っている。令和5年度はコロナ感染予防で一時活動を控えている。	入居者の希望により日常的に散歩や買い物・理美容室等の外出やドライブなどを行っている。又、家族と協力しながら外出や外泊に関する支援も行っている。令和5年度はコロナ感染予防で一時活動を控えている。	散歩に行く途中のスーパーで買い物する機会はあるが、コロナ禍で積極的な外出はできていない。感染が落ち着いたら活動の機会を増やしたいと考えている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理は職員で行っていますが、支払い直前に入居者の方にお金を手渡し、お釣りをもらえるように支援している。	金銭管理は職員で行っていますが、支払い直前に入居者の方にお金を手渡し、お釣りをもらえるように支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	本人の意向を尊重し電話や手紙はその都度、対応している。入居者の家族に電話したり、知人の方に暑中見舞いや年賀状の投函を行っている。	本人の意向を尊重し電話や手紙はその都度、対応している。入居者の家族に電話したり、知人の方に暑中見舞いや年賀状の投函を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東ユニット) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(西ユニット) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	全入居者が共用の空間で、毎日快適に居心地よく日常生活を送れるように(音・臭い・照明・空調)の管理を行っている。又、入居者が四季を感じられるように、季節に応じた置物や飾りつけを行うようにしている。	全入居者が共用の空間で、毎日快適に居心地よく日常生活を送れるように(音・臭い・照明・空調)の管理を行っている。又、入居者が四季を感じられるように、季節に応じた置物や飾りつけを行うようにしている。	リビングは広く、ソファ、テーブルが効果的に置かれている。広い空間の中でススキや柿の実が飾られ秋の気配を感じさせてくれる。昨年床暖房に改修され、入居者が心地よい温度管理で日々快適に過ごせるよう整備されている。室内は毎日2回消毒液で拭き掃除を行い感染予防対策を行っている。また施設に面してホーム菜園があり植え付けから収穫まで入居者の楽しみの一つになっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居者一人ひとりがゆっくりと穏やかに過ごせるように、席の配慮を行い、入居者同士の交流が深まるように支援している。又、居間にはテーブル以外にもソファを数ヶ所設け、入居者が思い思いに過ごせるような環境づくりを行っている。	入居者一人ひとりがゆっくりと穏やかに過ごせるように、席の配慮を行い、入居者同士の交流が深まるように支援している。又、居間にはテーブル以外にもソファを数ヶ所設け、入居者が思い思いに過ごせるような環境づくりを行っている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使い慣れた家具や物品等を居室内に持参して頂いている。入居者の方が快適に過ごせるように希望や好みを取り入れながら、入居者一人ひとりに適した空間づくりを行っている。又、入居後も入居者や家族と話し合いながら、居心地の良い環境作りに取り組んでいる。	自宅で使い慣れた家具や物品等を居室内に持参して頂いている。入居者の方が快適に過ごせるように希望や好みを取り入れながら、入居者一人ひとりに適した空間づくりを行っている。又、入居後も入居者や家族と話し合いながら、居心地の良い環境作りに取り組んでいる。	ご家族もゆっくり過ごせるような量の居室でベッドが置かれトイレ、洗面所が付いている。馴染みの物や好みの物を持ち込み、壁には手作りの作品などが飾られており、本人が居心地よく過ごせる空間を作り出している。室内は入居者と一緒に清掃を行っている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者一人ひとりのADL(日常生活動作)や残存機能を職員間で共有し、入居者が「できること」や「わかること」は、声かけ見守りながら、安全で自立した日常生活が送れるように工夫している。	入居者一人ひとりのADL(日常生活動作)や残存機能を職員間で共有し、入居者が「できること」や「わかること」は、声かけ見守りながら、安全で自立した日常生活が送れるように工夫している。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓該当するものに○印をつけてください		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。  (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。  (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。  (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。  (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。  (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。  (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)			1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
		○	○	3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。			1. ほぼ全ての家族等が
		○	○	2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない